

（午前9時30分 開議）

○議長（中本正人君）おはようございます。
ただ今の出席議員数は20人で全員であります。

○議長（中本正人君）これより本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（中本正人君）これより日程に入り、
日程第1 会議録署名議員の指名 を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、議長において2番 石橋君、
6番 小林君の2人を指名いたします。

日程第2 一般質問

○議長（中本正人君）日程第2 一般質問 を行います。

順番14、20番 辻本君。

〔20番（辻本 勉君）登壇〕

○20番（辻本 勉君）皆さん、おはようございます。きのう、ちょっと予定しておったんですけどもできなかったんで、昨夜、十分勉強する機会がありました。頑張ってやっていきたいなと思います。

早いもので、議員になりまして10年が過ぎました。あっという間でした。今でも、第1回、最初にやった一般質問については鮮明に覚えております。子どもたちのためにとということで、保育園の園児送迎に伴う安全対策ということで、駐車場整備についてやらせていただきました。特に、地元の橋本東保育園の送迎に関係して大変危険だということで、そ

れをさせていただいたら、当局のほうですぐにやっていただきまして、大変うれしく思ったことを覚えております。これからも前向きなご答弁をいただいて、取り組んでいただけたらありがたいかなと思っております。

それでは、議長のお許しをいただきましたので、一般質問を行います。

今回は、2点の一般質問であります。特に、1番目の都市計画道路橋本駅前線の整備とそれに伴う駅前エリアの区画整理事業についてであります。

この問題につきましては、私は過去何回も質問をやらさせていただきました。2005年6月には中心市街地土地区画整理事業全般について、2007年3月には今回と同じ橋本駅前線の拡張整備について、2008年9月と2011年5月には第一地区の進捗状況と今後についてということで、過去4回やらさせていただきました。

そういうことで、2011年9月には、木下前市長のほうから、大変素晴らしいご答弁もいただいております。

そういうことで、今回、恐らく最後になればいいかなと思っておるんで、よろしく願いいたします。

中心市街地地区整理事業は、昭和60年の都市計画決定から、はや30年が経過しました。平成8年に事業認可を受け、平成13年から工事着手していますが、その間幾度となく見直しされています。平成18年には、先行区域と休止地域とに分けた計画が出されました。ここには18年と書いているんですけども、その前に、平成16年に護岸工事に関連して、見直し、再計画が出されました。この18年には、それを受けての再見直しということだと思

ます。

現在、先行区域については大きく事業が進んでいます。第一地区の中で残された大きな問題は、表記の二つの事業であります。市の中心拠点である橋本駅周辺地区の整備は、本市のまちづくりと活性化にとって欠かすことのできない事業であります。よって、下記についてお尋ねいたします。

先行区域4.9haの進捗状況と工事完了時期について。

二つ目、都市計画道路橋本駅前線の整備(拡幅工事)と駅前エリアの区画整理事業の見通しについて。これに関連した問題に、全てお答えいただきたいなと思います。

続きまして、二つ目です。安全安心のまちづくりに欠くことのできない防犯カメラの設置についてであります。

昨日もあったんですけども、小・中学生の登下校の安全対策ということで出ておりましたが、防犯カメラについても、犯罪抑止から犯罪解決にとって、大変大事な設備ではないかなと思っております。そのことで、以下についてお尋ねいたします。

犯罪の抑止にもなる防犯カメラの設置は、近年、全国各地の自治体で実施され、凶悪事件の早期解決にも大いに役立っています。特に、児童生徒が安心して通学でき、また少子高齢化社会の中で、子どもやお年寄りが安心して日常生活を送るためにも必要であると考えます。

①橋本駅前公衆トイレ周辺、駅前広場など数箇所への防犯カメラ設置要望が、数年前に出されています。ここでは、駅前交番連絡協議会と書かせていただいておりますが、実際のところは、駅前交番連絡協議会は中心となっておりますが、橋本警察署協議会からの要望となっております。これが、現在どうなっていますか。

また、現在橋本市内に防犯カメラは何台設置されていますか。

三つ目、安全安心のまちづくりは、行政の最重要課題であります。積極的に取り組む考えはありますか。

以上、壇上よりの質問といたします。

○議長(中本正人君) 20番 辻本君の質問項目1、都市計画道路橋本駅前線の整備と駅前エリアの区画整理事業に関する質問に対する答弁を求めます。

建設部長。

[建設部長(塙阪 隆君)登壇]

○建設部長(塙阪 隆君) 先行区域4.9haの進捗状況及び工事完成時期についてお答えします。

先行区域については、本年3月末時点で総宅地面積の94.8%の仮換地指定が完了しており、整備が完了して、土地所有者の方に宅地としてお返しした面積は58.2%となっています。残りの整備工事については、平成28年度末の完成に向け、鋭意取り組みを進めています。

また、国土交通省の直轄事業である国道24号の整備工事については、平成29年度の完成をめどに、設計及び工事の発注を予定していると、国から説明を受けています。

次に、都市計画道路橋本駅前線拡幅工事の整備と、駅前エリアの区画整理事業の見通しについてお答えします。

平成25年9月定例会の一般質問において答弁させていただきましたが、駅前エリア及び駅西エリアの整備には、約44億円の予算が必要であり、今後、本事業に充当可能な一般財源が年間1億5,000万円程度であることから、事業期間は30年程度の長期になると想定されるため、事業手法の見直しと事業期間短縮に向けた検討を行っているところです。

しかし、その後も本市の財政状況は一層厳

しさを増すことから、区画整理事業を取り巻く状況はさらに深刻化すると想定されます。こうした状況を踏まえ、市として持続可能な行財政運営をめざした取り組みを検討する中で、さらなる事業手法の見直しが必要であると考えています。

もとより、橋本駅周辺は本市の玄関口で、中心拠点であります。細街路沿いの密集家屋が防災上危険であり、基盤整備と活性化は継続しなければならないと考えています。

しかし、従来どおりの土地区画整理事業の手法により、都市計画道路等の公共施設と宅地の整備を行えば、現状の財政状況の中では、事業の超長期化は避けることはできず、関係住民の方々へ多大な負担、不利益を及ぼすだけでなく、事業効果を早期に発現することは困難であると考えています。

全国的にも、土地区画整理事業を進める上で同様の問題を抱える自治体は多く、国においても都市計画に対する新たな考え方や柔軟な対応が検討されているところです。

そこで、本市においても、他の先進自治体での取り組みを研究するとともに、財源を確保するための調査・研究等も進めながら、整備手法の抜本的見直しをしてまいります。しかし、見直しには法的な手続きをはじめ、依然として多くの課題点があることから、今後、国・県等と協議をしながら、できる限り早期に進め方を整理し、議会をはじめ関係の方々への説明を行いたいと考えています。

○議長（中本正人君）20番 辻本君、再質問ありますか。

20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）ありがとうございます。

①のほうは、基本的には28年度末で完成ということなので、あまり言うことはないと思うんですが、このことによって、職員の体制がどのように変わるのかなど。交渉関係がほ

ぼ完了しとると思うんですが、現在、職員体制はあまり変わっていないと思うんですが、28年でほぼ終わるんであれば、用地交渉とかいろんな補償関係の交渉は、もう全て終わっておると私は思いますが、あとは換地をして、そこに建屋を建てていただくということだと思うんですけども、それからいきますと、交渉関係が終わりますと、その職員というのは、今後はどういう形の仕事にかかっていくのかなと思うんですけども。

それともう一点ですけども、これは大分以前に全ての工事の予算、財源内訳といいますか、いろいろ出していただいておりますけれども、実際のところ、まちづくり交付金とか公管金がかなりあったと思うんですが、現時点で、その辺の補助金についてはどうなんでしょうか。国や県の補助金をどれだけ使ったのかということと、全体の予算と比較してどれぐらいの金額になるのかということと、この工事関係が入ってきた中で、最終の28年末までに人件費総額がどれぐらいになるのかなというのを、少しお教えてください。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）まず、1点目の体制でございますけれども、先行区域のところで補償がほぼ終わってきたということで、現状といたしましては、昨年度から補償のほうの体制については縮小しております。今後についてでございますけれども、先ほど壇上でお答えをさせていただきましたように、今後の事業については本格的に抜本的な見直しを行っていくという中でございまして、今後の見直しに向けての体制の強化というのも必要であると考えております。そういったことで、今後、その体制についても本年度の中で検討というんですか、見直しを行ってまいりたいと考えてございます。

補助金のほうでございますけれども、現状と

いたしましては、現計画の中で補助なりをいただいておりますけれども、先ほど出ておりました公管金、国道のほうの公共施設管理者負担金のほうでございますけれども、これについては、現在総額といたしましては約27億円ほどあったと思っておりますけれども、現状といたしましては、残り少ないといえますが、3億円程度の金額になってきていると考えてございます。

なお、今後につきましては、事業の中で非常に長期化なりが想定される中で、今後の補助金については獲得というところが難しい状況になっておりますので、そういった財源の確保に向けても、事業の見直しというのが必要であると考えてございます。

最後の人件費のところでございますけれども、ちょっと今手元に資料がございませんので、後ほどご説明をさせていただきたいと思えます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）悪い言い方でいきますと、公管金は先食いしたという解釈でいいんでしょうか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）事業を進めるにおきまして、例えば公共用地、道路の整備でありますとか公園整備を行うにあたりましては、そのために必要な用地というのが必要になってございます。そういった土地の先行的な取得等においては、そういった費用を使わせておりますので、先行的に使わせていただいた分もございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）済んだことは、もう今さらごちゃごちゃ言うても仕方ないかと思えますので、2番のこれからのところについて、ちょっとゆっくりにお尋ねをしていきたいなと思えます。

平成18年、見直し計画が出されました。そして、25年9月に議会のほうにもありましたし、25年2月に市議会の全員協議会の報告がありまして、3月には経済建設委員会での具体的な報告がありました。そして、地元説明会が25年9月21日にやっておる。これは、基本的には駅前線の23mから16mに変更するという変更計画が中心だと思うんですが、これを受けて、住民説明会もやっておりますし、なおかつ意向調査についてもやっておったと思うんですが、そしたら、今の私が質問した段階でまた、将来に向けて見直しをやっていくということなんですが、そしたら、今までの見直しは何だったんですかね。

地元の方に、見直し見直しと何回も報告して、そして意向調査までしながら、全く見通しが立たないというのであれば、これは明らかにおかしな話でしょう。25年の地元説明会の段階で、将来に向けての見通しをきちっと出してやらないと、地元としては大変困った状況ですわね。実際、計画を出されてから何十年、当初の昭和60年からいったら30年なんですが、先行区域と休止区域に分けた段階からでもかなりの日数がたっておると。先行区域が終わり次第、あとのことについては考えていくというか、やっていきたいなという話もあったんですが、そうなってきたら、25年に見直しをして、わざわざ駅前線の23mから16mに見直しをして、地元住民に説明をしておいて、なおかつこれから抜本的にいろんなことを調査・研究しますというんでは、これは話にならんでしょう。25年の地元説明会でどういうことを言うとするんですか、地元の皆さんに。ちょっとご答弁ください。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）25年の折に、議員からお話もありましたように、議会のほうと住民の方に説明会をいたしました。その中で

ご説明をいたしましたのは、橋本のまちづくりにつきましては、やはり先ほども申しましたように、中心拠点でもあり、市の玄関口でもあるということで、まちづくりを進めるけど、継続しなければならないという大前提のもとに、ただ、財源的に非常に厳しい中で、30年以上の期間がかかってしまうということになりますと、効果がなかなか発現できないということと、また住民の方々いろいろな制約をかけるということで、ご負担、それからご不益をかけるという状況になりますので、事業の整備の内容を見直すことによって、できるだけ期間の短縮を図っていききたいということで、その検討を進めますということでご説明をさせていただきました。

ただ、その後におきましても、市の財政状況はますます厳しくなっております。また、今後の見通しについても一層厳しい状況でございます。そうした中で、これまでのそういった整備手法の検討だけでは、なかなか解決に至らないと判断をしたわけでございます。

そうした中で、本市も含めましてですけれども、全国的にもこうした区画整理事業でなかなか事業が進展をしていないといったところの事例がございます。そういったところで、いろいろな取り組みをしているという事例が出てまいりました。また、そういった流れを受けてか、国のほうにおきましても、都市計画に対します考え方が若干変わってまいりまして、柔軟な対応も検討されているという情報も入ってきてございます。

そうしたことで、この際、本市におきましても、整備内容の抜本的な見直しを行うほかはないのではないかということの考えに至ったものでございます。中身といたしましては、区画整理事業で進めておりますけれども、その事業の継続はもちろんなことながら、それ以外の事業の選択でありますとか、また区域の

見直しといったことも、当然のことながら視野に入れた抜本的な見直しであると考えてございます。

ただ、先行のところの事例で、いろいろ取り組み内容の情報も入ってきているわけでございますけれども、当然のことながら、橋本市とは地形等自然の環境並びに経過等も違います。また、まだまだ法的な制限等の問題も残っております。

ということで、そうした問題、課題もまだ多く残っている中で、いましばらく期間をいただきまして、今後、説明を行っていききたい。その折には、きちっとした資金計画に基づきまして、その整備内容でありますとか、あるいはスケジュールといったものについてお示しをしなければならないと考えてございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）現在の担当部長に、あまりいろいろ言うのも酷かなとは思いますが、実際のところ、この区画整理事業が本当によかったかどうか。私は、基本的には皆さん思っていると思うんですけど、実際は失敗ではないかなと思います。これは、当時のトップの負の遺産ではないかなとは思っています。これを受けて、平木新市長も大変だと思いますが、市長には後でご答弁をいただきたいと思いますが、ちょっと視点を変えていきますと、なかなか駅前線は進まないということなんですが、実際、駅前線の中で用地買収、先行取得しているところがあるわけでしょう。お金ない、お金ないと市は常に言いますが、お金をとる方法を考えていないというか、その辺をもうちょっと考えていかんと。

先行取得は何年前にしとるんですか。駅前の通りでいったら、3箇所ほどもうあいていますね。先行取得しとるでしょう。こんなん、まあ言えば、金利とか土地をそのまま置いて

おけば固定資産税も入ってくるわけでしょう。そんなんから言ったら、大きな間違い、ミス。事業もせえへんのに、せえへんというか、かなり遅れてきとんのに、何十年も前に先行取得をして、こういうのをどうお考えなんですか。

実際、今、駅前線のところにある駐車場になっています、2箇所ね。これは、どういう状況になっておるんか。地元の方は借られておると思うんです、この駐車場をね。この駐車場、もうはつきり言ったら7,000円で借りておられるんです。駅前周辺の方が、1区画7,000円で借りておる。そうしたら、今までは市街地開発のほうに支払いをしとった。今は商工会議所に支払いをしとるんですよ。この差額が、商工会議所から管理料をもうとるんでしょう。何でそんなことをするんですか。商工会議所は一銭もならんのに、窓口にとるんですか。商工会議所が、一銭もならんのに窓口をやってくれているんやったら、ありがたいですよ。せやけど、誰もそんなことせんでしょ。その辺、どうなっているんですか。この辺から言うても、市の取り分が減ってきてるわけでしょう。ご答弁ください。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）用地につきましては、先ほども申し上げたわけですが、もともと区画整理全体でそうですけども、非常に狭隘な道路であるとかという状況のところ、新たに道を設置するなり拡幅するなり、あるいは公園をつくったりという事業でございます。

この土地につきましては、当然どっかで生み出さなければならぬわけございまして、それを先行的に活用するために取得した土地でございまして。

ということですので、今後区画整理を継続するということになれば、換地計画をして、

新たに宅地を再配置する際に、これらの先行した用地が道路用地という形に変わっていくということになってまいります。

その土地につきましては、現状駐車場等で使っていただいておりますけれども、先ほど区とか商工会ということが出てまいりましたけども、やはり用地はそのままにしておきますと、環境上も保安上も問題があるということで、そういった清掃等の管理等も含めまして、関係のところをお願いをしているといった状況でございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）私は、区が管理していただいて、草刈りとかをやっていただいているというのは、別に何も悪いことないんよ。出したたらええんですよ。出すのが当然だと思っておりますよ。

あの駐車場は草刈りする必要ないし、別に管理する必要は何もないでしょう。駅前の開発事務所も近いし、何かあればすぐ行けるわけや。ほかのところで草刈りをやっていただいているのは、これは当然地元にお世話になっとんやから、それは構へんねん。

そうしたら、何で商工会議所が窓口にとるんですか。商工会議所に何ぼか払とるんですか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）管理を行うに際しましては、一応駐車場とかにつきましては、徴収とかの業務も入ってまいります。なかなか現有の職員の体制の中のところでは、そういった業務というのは難しい部分がございますので、現状としては清掃なりの管理とともに、そういった業務についてもお願いをしているというところでございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）何でもかんでも今、振り込みをしとるんでしょ。コンビニで振り

込みもやっていくということでやっているのに、何でわざわざ、そしたら、はっきり言うてよ。商工会議所に、7,000円のうちいくら払とるんですか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）今ちょっと手元にその資料がございませんけども、業務に合うた形での金額をお支払いして、管理していただいております。手元にほうに資料がございませんので、今ちょっとお答えすることができません。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）管理って、実際、ほんまにしてくれとるんやったら、私は何も言いませんよ。せやけど、こういうところで抜けていっとるってわけや、市の収入が。財政厳しい、財政厳しいと言いながら、稼ぐところ、収益を上げれるところで抜けていっとるということは、財政厳しいからこれもできません、あれもできませんという理由にはならん。そうでしょう。

もうちょっと市として収益を上げる方法を考えていかんと。そうでしょう。一方では、金要る、市民要望は、いろんな問題があって、お金が要るのはわかっているんや。そしたら、市の収入というのは限られてきとる。せやから、それをどないしてアップしていこうかということを考えていかなあかんときに、そういう無駄な流れというのは、何でこしらえたかというのはおかしいでしょう。

何でもかんでも商工会議所にまくりゃええというもん、ちゃうでしょう。これは、絶対是正してもらわんと、私は大きな問題だと思いますよ、市民からとつても。

きちっとした金額と、これ、公表してくださいよ。手元にないとか言わんでも、あそこの借りている人が駐車場代金を払とるのは7,000円なんよ。もともと6,000円やってん。

アスファルトにしてもらって、7,000円に上がつとる。そうでしょう。そのうちのどこに何ぼで、どこに何ぼ行つとんのよ。市に何ぼ入っているんやというのは、そんなもん、明らかにわかるでしょう。

先行取得した必要性があるということなんですけども、十数年もほっといて、何が先行取得なんでしょう。駅前線は全く手つかず。そうでしょう。それより、3箇所買収しとるんですよ。特に24号線に面した、昔ボンという喫茶店があったんですけども、ここなんかもうずっと以前なんよ。そうでしょう。ほんであと2箇所買収して、これも大分なりますわ。ほんで、中のほうにも、まあ言えば一部の人のところだけ買収してある。おかしいでしょう。休止地域であって、まあ言えば、今の段階でも調査・研究してどうのこうのという段階で来てんのに、早くから先行取得しとると。おかしな話。これ、計算してくださいよ。あのまま置いておいたら、固定資産税が何ぼ入ってきとんのか。そうでしょう。ほんで、買収した金額に対して、普通やったら金利がどれぐらいかかってくるんやということも計算していつて。そうでしょう。お金ないんやったら、お金ないだけでもうちょっと考えやんと。駅前線、ほんまにすぐにでもやりますというんやったら、僕は構へんよ。その土地が必要性があって、当然公共用地も要るんやというんであれば、それはいいですけども、こんな状況で買収するのはおかしいでしょう。後でもいいですけど、とにかく答弁はちゃんとしてください。正確な数字を教えてください。

それと橋本駅、きのうからもいろいろあったんですけども、高野山の関係でお客さんがどんどん来とるけども、橋本駅にあまり寄らないということなんですけども、橋本駅に寄った人、橋本駅に降りた人が、駅前を見たと

きに、何やねんと。橋本市ってこんなまちですかという方がほとんどですわ、実際のところね。

ほんで、特にJAの跡地というのは大きな問題ではないのかな。正面に空きの大きなビルがある。汚いビルがあるっていうことから考えていっても、橋本市の駅前、橋本市の顔である駅前の駅前線、その周辺の整備事業というのは、早急に取り組むべきだと思うんですけども、JAの跡地の問題はどのようになっとんですか。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）JAの部分につきましては、現状ですけれども、市街地開発事務所につきましては、今年度末をもって移転いたしまして、市のほうに事務所を構えるという予定でございます。後の土地の活用につきましては、今現在、JAも含めまして、協議を進めているところでございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）担当部長にはそれぐらいにしておきます。大変しんどい思いをさせていただきとるのはわかるんですけども、実際、事業が遅れば遅れるほど、人件費ってかかるでしょう。若干体制を縮小してきているとはいえ、年収が平均500万円とすりゃ、20人おりゃ年間1億円ですわ。毎年それだけ持ち出しが増えていくわけです。そのことも考えてながら、やはり早急にせんとだめやと私は思いますが、せっかく理事が来ていただいておりますので、理事もいろんな開発とかそういう関係ではかなり知識がおありだと思うんですけども、今現在の理事としての立場では難しいかもわかりませんが、近くでおっていただきまして、今まで見てきた橋本市の中心市街地の開発、区画整理事業について、どのような感想をお持ちなのか。言える範囲で結構でございますので、ちょっとお教えく

ださい。

○議長（中本正人君）理事。

○理事（久保 進君）議員の質問にお答えいたします。

橋本の駅前の区画整理でございますけれども、これにつきましては、ちょうど始めたのが、区画整理とかを国のほうも一番積極的に進めておる時代でございます、そのころから始めてきたわけです。かなり規模も大きいという話もありまして、設定としてはそんなにおかしい話ではないかとは思いますが、かなり規模が大きいということで、同じような事業を立ち上げた市町村、ほかにも全国的にかなりたくさんございます。

進めるにあたって、割合小さい規模ですぐ終わってしまったようなところはいいんですけども、やっぱり大きく立ち上げたところというのは、今、同じ悩みを抱えておるということで、先ほどからも部長の話の中にありましたけれども、国のほうでそういうのはちょっと財政的に厳しいという話がありまして、画一的な今までの区画整理というやり方じゃなしに、もっと今まである制度を上手に活用して、そんなに財政負担がかからんような制度といいますか、運用の仕方というものを検討されているところです。

ほかのところでもそろそろ始めておるわけですけれども、橋本市におきましても、そういうやり方をやっていったらどうかということで、現在、中でそれを検討する担当者レベルの委員会をつくりまして、私も参加させていただいておりますけれども、そういうのを、今、検討しているところです。

どうして進めたらいいかというのを、28年度に、今やっているところは、とりあえず先行区域は終わる方向で進めております。それから、29年度には、24号沿いの国土交通省の事業も終わってくると思います。それまでに

きっちりと整理しまして、先ほどからも大分厳しいご指摘がありますけれども、財政的にも厳しいのは実情です。

そんなことも考え合わせまして、それからほかのいろいろ公共施設の整理なんかもやっていかなあかんと。整理というか、見直しをやっていかなあかんと。建て替えとかいろいろありますよね。そんなことも全て考え合わせた上で、今後どうしていったらええんかということもあわせて、今検討しているところです。

とにかく、今やっているところをまず終わらすというのは一番大事かと思えますので、まずそれを終わらすと。あと、先ほどちょっとご指摘があったわけなんですけれども、先行して休止区域の買収なんかもやっております。これは、普通の区画整理事業の中ではああいうやり方を一般的にはしておるわけなんです、それに基づいて、今までの区画整理事業のやり方という形でやってきたわけなんですけれども、買収してしもたところは。先ほどのJAの話もありますけれども、その辺はどう整理するかというのもまとめて、今検討しています。

駅前地区につきましては、橋本市の顔というのは当然わかっておりますし、それから、駅前地区につきましては、先ほどからもありましたけれども、細街路、細い街路のまち中の道、細いところは、まあ言うたら、例えば地震とか火災とかというときには、非常に危ないということで、何とかせなあかんとという認識は、当然持っております。

その辺もあわせまして、財政的な面もあわせまして、29年度には国のほうも終わって、次、どう進めていくかというのを積極的に検討しているところでございますので、しばらく待っていただかなきゃあないですけども、これはご理解をお願いしたいと思います。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）私も、財政的な問題は理解しとるんですけども、実際のところ、その辺のいろんな説明を、当然25年の16mに見直ししたときに、話を地元いきちっとすべきだと思うんです。

それと、もともと歴代の市長は、特に木下市長は、駅前線だけはやりますという強いご意志はありました。そんな関係でいきますと、駅前の方というのは、それをやっぱり期待しとる。実際、昨年、市長選のときも、私も平木市長と一緒に駅前のほうへ行かせていただいて、やっていきますよという話をさせてもらいましたが、市長は反論しませんでした。ということは、一緒に取り組んでいこうというお気持ちがあったのではないかなと、私は思います。

それと、我々は、そういう見直しを今やっていますよという話を聞いたら、ある程度理解はできるんですけども、地元住民というのは、長い間、首を長くして待ってるわけでしょう。ほんで、高齢化もしてきています。そしたら、次いつからやって、いつ終わるんやと。やれへんねやったらやれへんという話を、やっぱりきちっとしてほしい。もうずっと、ほんまに真綿で首を絞められとるようなもんですわ。ずっとずっと待たされておる。そうでしょう。いつまでたっても、見直しします、見直ししますばっかしやと。そうでしょう。

そしたら、もうやるんかやらんかという結論を出して、やるんやったらいつから入りますよと。そうでしょう。29年に国道の関係が終わるんやったら、ほとんど終わってしまう。先行区域が終わってしまうのであれば、用地買収とかいろんな交渉事は、28年ぐらいから入って行って、そういう段取りをしますよとか、ほんで、財政的なあれがあってしんどい

から、10年かかりますよと。工期は10年かかりますよ、5年かかりますよと。当然そういう具体的な話がほしいわけでしょう。もうずっと待っているんやから。

行政は、それをやっぱりきちっと出してやらんと。いつまでも見直し見直しでは、話にならん。やめるんやったらやめる。駅前線だけでもやり切るんやと。大変厳しい財政状況やけども、5年、10年かけて完全にやり切りますよということを、きちっとお示しいただきたいというのが本音なんで、平木市長、担当部長ではちょっと答弁しにくいと思いますので、平木市長のはっきりしたご答弁をいただきたいなと思います。

○議長（中本正人君）市長。

〔市長（平木哲朗君）登壇〕

○市長（平木哲朗君）辻本議員の質問にお答えをします。

私、就任後すぐに、駅前の事業については一旦白紙に戻せという指示をいたしました。その中で、今後どういう手法があるのか、もう一度再確認せよというお話をさせていただきました。総事業費44億円、恐らく人件費を入れると50億円以上のお金がかかってきますし、30年もかけてやるというのも大変なことであるなということで、就任早々、県土整備部も部長と技監のほうにお願いをしまして、橋本市の現状を正直に伝えてまいりました。

それで、県としても全面的に協力してくださいということで、確約もいただいて進めているところでありまして、先ほど部長、理事が申しましたように、できるだけ早い時期に中止にするのか、このまま進めていくのか、新たな手法でやっていくのかという判断をしていきたいと思っています。

昨年の市街地の総会におきましても、もう少し時間をくださいというお話をさせていただきましたので、第一工区を終わるまで

には必ず結論を出しますというお話をさせていただいております。

今現在、なぜ市街地開発事務所をこっちへ持ってくるかと言いますと、今現在駅前においては底地がありません。換地するにも土地が全くないという状況の中で、一旦観光案内所も移動させましたし、市街地開発事務所も、国体が終わりましたらできるだけ早い時期に北別館のほうへ戻していきたいと思っております、そのときに要員も削減してまいります。

そういうふうには、JAの用地につきましても、当初はJAは売らないという話を当市にいただいておりますので、今後、あそこをあけることによって、売っていただけることになれば、底地がまず確保できるのかなという判断のもと、ちょっと露骨なんですけども、そういう手法をとらせていただきました。

これから、本当にどういう形でやるか。時間がない中で、またこれから国・県との協議もしっかりとして、その方向性を持っていきたいと思っていますし、私も30年かけてやる事業ではないなとは思っています。私の立場としたら、30年かけたら、やったほうが、私にとっては楽なんですけども、そういうわけにも、駅前の皆様のご意見をいただいておりますので、そういうことで進めていきたいと思っています。

今、もう一つ課題があるのが、再開発住宅の活用をどうしていくかという問題も、実は出ておりまして、もう20年ぐらいの建築になるかと思うんですけども、それについても、今現在半分ぐらいしか入っておりませんので、これを何とか収入にできるような方向を、これからちょっと考えていきたいなと。一般に貸すのか、市営住宅として使うのかというのは、まだまだこれからの議論なんですけども、そこもいずれ改修とかいろんなことを考えて

いくのであれば、そういう費用もつくっていいかなあかと、現在考えています。

橋本の駅前のにぎわいづくりというのも、もう一度一からやっていきたいなということで、今現在毎週土曜日にイベント等を開催させていただいておりますので、これをもう少し充実させていくということで、現在進めています。

もう一つは、地方創生の中で、空き店舗を使った起業支援であるとか、貸事務所的なところを活用して、もう一度駅前のにぎわいをつくれないかであるとか、例えば今たくさん天空に乗られるんで、駅弁をつくって、それを販売できないかとか、とにかくそこに今たくさん人が来ていただいているので、あの駅前の再活用についてももう一度開発という考え方を抜いて、進めていきたいなと思っています。

先日、民間事業者に駅前を見てもらいました。JAのところも見ていただいて、どうでしょう、ここはどういうやり方がいいですかという提案をお願いしましたところ、一言で集客施設がないところにマンションを建てても無駄やという、なかなか難しいですねという話をいただいています。

今一番いいのは、バス停とかタクシー乗り場であるとか、駐車場を何とか一体的に整備して、集客施設を持ってこれないかということも、民間デベロッパーを呼んでくるには一つの大きな材料になるのかなとも考えておりました、そこのこれからは事業者との話し合いもしていくということも必要ではないかと考えておりました、現在なかなかそろばんを動かすであるとか、手法を考える、やめるという三つの選択肢の中で、早急に結論を出していきたいと考えておりますので、いましばらく時間をいただきたいなと思います。

○議長（中本正人君）建設部長。

○建設部長（塙阪 隆君）先ほど保留になっておりましたことについてお答えを申し上げます。

まず、人件費についてでございますけども、ここ数年で申しますと、年間に約1億円余しの人件費が必要になっております。市街地につきましては、平成13年から事業に本格着手をしておりますので、13年以降現在まで14年間というのは、多少人員の増減はあったと思いますけれども、そういった形で経緯をしてくれているといった状況でございます。

それから、土地についての管理でございますけども、内容につきましては、まず管理等をお願いしているところにつきましては、基本的に市と区のほうで契約をさせていただいておると。その中で、区のほうから、その業務の一部を商工会などに委託させていただいているといった状況でございます、その金額的なところについては、区からの契約でございますので、私のほうではちょっと把握できておりません。

以上でございます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）ありがとうございます。

もっといろいろ詰めたんですけども、時間が制約されておりますので、1番についてはこれで終わりたいと思います。

○議長（中本正人君）次に、質問項目2、安全安心のまちづくりに欠くことのできない防犯カメラの設置に関する質問に対する答弁を求めます。

総務部長。

〔総務部長（吉本孝久君）登壇〕

○総務部長（吉本孝久君）まず、1点目のご質問ですが、橋本警察署協議会からの要望書は、平成23年8月に提出されており、橋本駅周辺及び大型量販店周辺等への防犯カメラの設置が要望されています。また、同年9月に

は、橋本警察署から防犯カメラ設置希望場所として、市役所南西交差点、橋本駅舎、県立橋本体育館出入口、林間田園都市駅、紀見峠駅等への設置希望が出されています。

このうち、市役所南西交差点については、橋本小学校の移転に伴い、平成25年度に防犯カメラ2台を設置しています。橋本駅舎については、公衆トイレや駅前広場への設置はしていません。また、県立橋本体育館出入口、林間田園都市駅、紀見峠駅についても、道路を写す防犯カメラの設置はしていません。

なお、大型量販店等の防犯カメラについては、各事業者が自主的に設置いただいているところです。

次に、2点目の市内で設置している防犯カメラの台数でございますが、現在市が設置した防犯及び施設管理のためのカメラは、庁舎内1台、庁外施設42台、道路6台の合わせて49台です。道路等に設置しているものとしては、市役所南西交差点と河南県道2箇所の合計3箇所で6台となっています。

3点目の安全安心のまちづくりへの積極的な取り組みについてですが、本市長期総合計画後期計画にも、まちづくりの基本施策として、安全で安心な地域づくりを推進するため、地域の見守り活動等コミュニティ力を向上する活動の支援や、犯罪のない社会づくりをめざすため、防犯意識の向上や地域における防犯活動の充実に努めるとしてしています。たくさんの方の地域の皆さま方が、登下校を見守り、子どもたちの安心安全にご尽力をいただいています。また、青色回転灯搭載の車での自主防犯パトロール等、防犯意識の向上、地域安全の推進へのお力添えをいただくなど、大変心強く、ありがたいことです。

安心安全のまちづくりは、行政の重要課題であり、犯罪の抑止力としての防犯カメラの有用性については認識しており、橋本中学校、

西部中学校、学文路中学校の統合に伴い、通学路に数台の設置を予定しています。

なお、防犯カメラの設置及びメンテナンスには多額の費用が必要となりますので、設置については、限られた予算の中で、必要性や優先度等を十分検討していきたいと考えます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君、再質問ありますか。

20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）済みません。ちょっと時間がなくなってきましたので、簡単に言って、答弁のほうも簡潔にお願いいたします。

駅前交番というか、警察のほうから出てるんですけども、全国的にやっぱり防犯カメラ設置はかなり進んでいます。その市の取り組みの姿勢というのがどこにあるんか。市の取り組む政策のポイント、重要なところはどこにあるんかということも、試されておるんではないかなと思うんですけども。

箕面市が1億5,000万円をかけまして、市内全域に設置をします。全ての小・中学校の通学路に防犯カメラを設置していったら。これは大きな予算なんで大変だと思いますが、近くでは、紀の川市は6月補正で、市立の小・中学校、保育所の全部に防犯カメラを設置するというので、23台、1,420万円の予算をとっています。紀の川市は、ことし2月の事件を受けてのことだと思うんですけども、あのときも、JRの駅に防犯カメラがあれば、私たちがそういう大きな不安にならなくてよかったんじゃないかなと思いますので、大変大事だということで、紀の川市はやっていきます。

犯罪というのは、弱いところに集中してきますので、紀の川市、その他のまちが防犯カメラを積極的に設置していくと、少ない橋本市に、やはり犯罪が発生してくる可能性があることについて、どのように考えておられる

のか。

それともう一点、先ほどありましたとおり、中学校の統廃合によって通学路につけていくということもありますし、過日、大分以前ですけれども、去年ですかね。学文路環境管理センターの延長に伴う地元要望で、防犯カメラもありました。そしたら、どちらを優先していくんだということなんです。これは、早くから警察署協議会が出してきて、優先順位をつけとるんでしょう。ほな、これをほっといて、統合とか延長に伴う条件整備でやるんか。そうでしょう。橋本市は、市としてほんまに防犯カメラの必要なところにつけていくということでないと思えだと思えます。統合に伴う通学路もいいんですよ。やっていってくれたらいいんですけれども、そうなってきたときに、そしたら今までのほかの通学路はどないなるんやと。もっと全体的なところを見ながら、条件整備で上がってきたから、先に防犯カメラをつけますよというんでは、橋本市の姿勢を疑われるわけでしょう。こういう形で地域要望が上がってきて、早くから要望を出しているのに、まあ言えばその1箇所、東家の1箇所しかつけていないにもかかわらず、これも含めて、今後どういうふうにどこを優先順位としてつけていくんか。簡潔にご答弁ください。

○議長（中本正人君）総務部長。

○総務部長（吉本孝久君）市役所の西側に設置しました防犯カメラは、2台で126万円と高額でありました。そういうことで、前に計画を見送ったこともありまして、現在は性能のいいカメラが2台で80万円程度と安くなってきております。これにつきましては、画素数が大きいほど金額が高いというのもございますんで、関係機関と協議いたしまして、適正な画素数とした安価なカメラを購入いたしまして、犯罪抑止の観点からも、財源の許す範

囲で計画的な設置を考えております。

特に条件整備ではなく、橋本警察署からの要望等や通学路等の関係につきまして、優先順位をつけて計画的に設置してまいりたいと思います。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）ありがとうございます。

防犯カメラについての設置計画、予算もかかってくると思いますので、予算の問題、設置場所等の年次計画を、中学校の統廃合でいろいろ問題も出てきておりますので、やはりこの際きちっと出して、議会のほうに報告をいただきたいと思うんですけど、どうですか。

○議長（中本正人君）総務部長。

○総務部長（吉本孝久君）なかなか計画的に設置すると言いましても、ちょっと時間がかかりますので、ある程度の計画ができ上がった段階で、報告をさせていただきたいと思えます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）全体的なところにつきましては、若干時間がかかりますのであれなんですけど、とりあえず今年度といたしますか、早急につけるところについてのご報告をいただきたいなと思えますが。

○議長（中本正人君）総務部長。

○総務部長（吉本孝久君）まず、橋本警察署の優先順位の2番でございます橋本駅前広場については、来年度の予算要求をしていきたいと思えます。

○議長（中本正人君）20番 辻本君。

○20番（辻本 勉君）ありがとうございます。

ということは、台数的にはほんまに値段が安くなっているというのはわかりますが、もっと安くできるいい方法ってないんでしょうかね。今、結構いろんなあれが出ると思うんですよ。昔からある防犯カメラじゃなしに、別に白黒でもええし、いろいろ簡単なやつが

できているはずですね。そういうことも研究してもらって、やっぱしできるだけ多くつけてやる。限られた予算の中で、できるだけ多くの台数をつけてやるといういい方法を、ある程度一気につければ安くなると思うんですよ。今までの防犯カメラと違う安くなる方法を考えていただけたら、もっとたくさんつけ

れるんで、よろしく願いしておきます。

時間がないんで、もう答弁は結構です。

○議長（中本正人君）20番 辻本君の一般質問は終わりました。

この際、10時45分まで休憩いたします。

（午前10時30分 休憩）